



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2018/11/26

研究課題名	未破裂脳動脈瘤の増大・破裂を促進する因子同定のための臨床研究
研究の対象	2012年1月1日から当院脳神経外科に未破裂脳動脈瘤または破裂脳動脈瘤で受診した方
研究目的・方法	<p>くも膜下出血は、致死率や後遺症率が高く、医学的にも社会的にも極めて重要な疾患です。くも膜下出血の主たる原因は、脳動脈瘤の破裂です。現時点では、脳動脈瘤破裂を予防するための治療法には、開頭クリッピング術やコイル塞栓術などの外科治療しかありません。また、未破裂脳動脈瘤は必ずしもすべてが破裂してくも膜下出血を生じるわけではなく、破裂高危険群の患者さんだけを識別して外科治療を行うことが必要です。これまでの研究により、未破裂脳動脈瘤の破裂率は人種、部位、大きさ、形状等によって異なることが明らかになり、脳動脈瘤破裂の危険性を予測するスコアが提唱されていますが、それだけでは真に破裂高危険群の脳動脈瘤を判別するには不十分です。</p> <p>一方、動物モデルを用いた基礎研究により、脳血管壁での炎症が脳動脈瘤発生・増大において重要な役割を果たしているということが分かってきています。また、一方、流体力学的手法を用いた研究では、ある特定の血流負荷が脳動脈瘤の発生や破裂と関係していることも分かってきました。何らかの血流負荷が、脳動脈瘤壁の慢性炎症を引き起こし、それが脳動脈瘤の増大や破裂につながるかものと考えられますが、詳しいことは分かっていません。これを明らかにするためには、実際に経過観察中に増大・破裂をおこした未破裂脳動脈瘤について研究をする必要があります。</p> <p>この研究の目的は、経過観察中に増大・破裂をきたした未破裂脳動脈瘤と一定観察期間中増大も破裂もしなかった未破裂脳動脈瘤を比較することにより、未破裂脳動脈瘤の増大・破裂に関与する因子を明らかにすることです。</p> <p>2012年以降に北野病院脳神経外科に、未破裂脳動脈瘤もしくは破裂脳動脈瘤で受診した患者を対象として、これまでの通常診療で得られた下記の情報を利用します。研究期間は許可日から3年間です。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、既往症、生活歴、家族歴、脳血管画像評価、転帰など
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータ提供は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。研究終了後は個人を特定されないように処理した上で廃棄します。対応表は当科の研究責任者が保管・管理を行います。
研究組織	宮本 享 (京都大学 脳神経外科) 片岡大治 (京都大学 脳神経外科) 吉田和道 (京都大学 脳神経外科) 石井 暁 (京都大学 脳神経外科) 菊池隆幸 (京都大学 脳神経外科) 舟木健史 (京都大学 脳神経外科) 大川将和 (京都大学 脳神経外科) 山尾幸広 (京都大学 脳神経外科) 伏見育崇 (京都大学 放射線診断科) 高橋 淳 (国立循環器病研究センター 脳神経外科) 坂井信行 (神戸市立医療センター 中央市民病院 脳神経外科) 岩崎孝一 (北野病院 脳神経外科) 沈 正樹 (倉敷中央病院 脳神経外科) 波多野武人 (小倉記念病院 脳神経外科)



<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 脳神経外科 主任部長 岩崎孝一、副部長 後藤正憲 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 脳神経外科 Tel：06-6312-1221 研究責任者：公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 脳神経外科 岩崎孝一 研究代表者：京都大学 脳神経外科 宮本 享</p>
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------